

# 令和05年6月（第2回）岩倉市議会定例会

## 一般質問通告要旨

### 1 梅村 均 議員

- 1 高齢者等救命バトンの周知を
  - (1) 近年の配布状況は。
  - (2) 周知の頻度や周知方法は充分か。
- 2 商工・観光振興策の充実を
  - (1) 地産地消促進や市内経済の活力創出のため「市内共通商品券」を発行してはどうか。
  - (2) 観光振興会においてECサイトを立ち上げ、グッズ等の販売ができないか。また、認定されたいわくら名産品を販売できないか。
- 3 岩倉駅東側タクシー乗り場にベンチの設置ができないか

### 2 谷平 敬子 議員

- 1 高齢者の買い物支援について
  - (1) 買い物弱者の実態をどのように把握しているか。
  - (2) 現在の取組を問う。
  - (3) 地域に買い物支援の体制をつくってはどうか。
- 2 結婚新生活支援について
  - (1) 直近3年の婚姻届数を問う。
  - (2) 50歳時点の未婚率はどのようか。
  - (3) 国の結婚新生活支援事業を活用できないか。

### 3 塚崎 海緒 議員

- 1 岩倉市のハラスメント対策について問う
  - (1) ハラスメントに関する正しい知識のインプットについての取組
  - (2) シグナルを見逃さない風土をつくるための取組
  - (3) 風通しのよい環境をつくるための取組
- 2 職員間のハラスメントについて問う
  - (1) 職員からの声は届いているか。
  - (2) ハラスメントによる休職者数はどのようか。

- (3) 外部組織によるサポートの有無についてはどのようなか。
- (4) ハラスメント対策は事業主（首長）の義務との認識でよいのか。

### 3 市民と職員間のハラスメントについて問う

- (1) 市民からの声・職員からの声は届いているか。
- (2) 岩倉市不当要求行為等対策要綱の条例化についてどのようなか。
- (3) 職員から市民に対してのハラスメント防止対策はどのようなか。

### 4 議員と職員間のハラスメントについて問う

- (1) 職員からの声は届いているか。
- (2) 対策フローについてはどのようなか。

### 5 子どもたちを取り巻くハラスメントについて問う

- (1) 子どもからの声・職員からの声は届いているか。
- (2) 職場（園・学校・学童など）仕事に集中できるような環境が整っているか。
- (3) 小中学校の不登校者数と当事者家庭への学習・メンタルサポートはどのようなか。
- (4) 子どもの声を「聴く」ための取組についてはどのようなか。
- (5) モンスターペアレントの定義と対策についてはどのようなか。

## 4 堀江 珠恵 議員

### 1 本市の子どもたちへの食の安全を問う

- (1) 「昆虫食」や「食用コオロギ」に関する報道やSNS投稿を目にすることが増えた中で、本市における学校給食での見解を問う。
- (2) 学校給食では、たんぱく質源と呼ばれる食材は1食の中で何パーセントの割合なのか。
- (3) 以前にシェフのスペシャルメニューで一部無農薬野菜を使った取組をされていたが、現在はどうか。

### 2 コロナワクチン接種後の副反応・後遺症について

- (1) 新型コロナワクチンは治験が終了したが、多くの医師からメリットよりデメリットが勝るのではという提言もあり、令和4年10月には接種後に亡くなった方の遺族からなる遺族会も立ち上がった。新型コロナワクチンの副反応についての本市の認識は。
- (2) 現在どれくらいの相談があり、どのような内容なのか。
- (3) 今の医学では対応しきれないことも多々あり、本市で相談窓口を設ける方針は。

## 5 井上 真砂美 議員

### 1 石仏公園工事に伴う影響について

- (1) 石仏公園の令和 8 年供用開始の工事予定はいかがか。
- (2) 工事の開始に当たって、石仏スポーツ広場として利用しているグループの今後の見通しはいかがか。
  - ① 常時活動グループの利用の見通しは。
    - ・ サッカークラブ ・ ソフトボール ・ 野球
    - ・ グラウンドゴルフ ・ 一般の活動等
  - ② 試合や大会等の計画はどのようにするのか。
    - ・ ソフトボール等
- (3) スポーツ広場の工事中の活動の見通しについてはいかが考えるか。
- (4) ウォーキングロードの樹木の管理はいかがするのか。
- (5) 石仏公園は令和 4 年 3 月 22 日（火）全員協議会での報告後の変更点はどのようなか。
- (6) 関係者のご理解と周知方法はいかがか。

## 2 公共施設の利活用について

- (1) 夢さくら公園の休憩棟 2 階の利用状況の現状はいかがか。
- (2) 夢さくら公園休憩棟 2 階を今後どのように利活用していくのか。

## 3 放課後の子どもの居場所づくりの充実に向けて

- (1) 「第 2 期子ども・子育て支援事業計画（令和 2 年度～令和 6 年度）」における放課後児童健全育成事業の「量の見込みと確保目標量（平日）」と現状とのずれをどのように考えるのか。
- (2) 計画の見込みより登録者数が多い学校の対応策はどのようなか。
  - ・ 岩倉北小学校
  - ・ 岩倉南小学校
  - ・ 五条川小学校
- (3) 放課後子ども教室の平日実施に向けて、岩倉南小学校・五条川小学校での継続的な実施についてどのように模索しているのか。
- (4) 児童館の役割について現状と今後の見通しはいかがか。
- (5) 放課後子ども教室の指導員、学校教員、児童館・放課後児童クラブの職員の情報交換はどのように行っているのか。
- (6) 児童館や夢さくら公園休憩棟 2 階を活動場所として利用するのはいかがか。

## 6 水野 忠三 議員

### 1 本市の小中学校におけるデジタル技術の利活用等について改めて問う

- (1) 最近の生成 A I を含めたデジタル技術の進展について認識は。
- (2) 生成 A I 等の利活用については、好機（チャンス）と課題があると思うが、見解は。
- (3) デジタル庁の補助事業である「こどもに関する各種データの連携による支援実証事業」について、概要及び見解は。

- (4) 児童・生徒の個別最適な学びを推進したり、教師が本来の業務に専念できる環境づくりをさらに図るために、必要に応じ、各種データのさらなる連携や生成AI等を含めたデジタル技術の利活用も有効と考えるが、見解は。
- (5) 多様な課題対処に貢献する人材を育成する観点から、デジタル技術等も活用しながら教科横断的な教育も推進すべきと考えるが、見解は。
- (6) 海外の方々との交流や国境を越えた学習コンテンツの利活用のためにも（対面学習だけでなく）オンライン学習等を今後も推進すべきと考えるが、見解は。
- (7) 今後の教育の場におけるさらなるデジタル技術の利活用等を問う。

## 2 本市の小中学校でのスタンディングデスクの導入の可否について問う

- (1) 現在、小中学校で使用されている机や椅子の規格等は、どのように決められているか。
- (2) 「長時間座ると、死亡率も上がる」との海外の研究について、見解は。
- (3) 静かに座り続けていることが学校での学びに最善とは必ずしも言えないと考えるが、見解は。
- (4) スタンディングデスクの導入により、児童・生徒の「注意力低下が減少する」と考えるが、見解は。
- (5) 教室の中では「落ち着いて座って授業を受ける」という「常識」には再考の余地はないか。
- (6) 小中学校の教室等でのスタンディングデスクの導入について、見解を問う。

## 3 本市内の老老介護について問う

- (1) 本市内における高齢化の進展状況、及びいわゆる「老老介護」の現状は。
- (2) ケアマネジャー等の役割について現状は。
- (3) 「介護される人（被介護者）に関することだけでも仕事量が膨大で、介護者の方の異変に気付くのは容易ではない」との意見について、見解は。
- (4) 介護される人（被介護者）に加えて介護者に対してもさらに支援体制を充実すべきと考えるが、見解は。
- (5) 今後の「高齢者の皆さんの福祉の充実」について、本市の姿勢を問う。

## 4 本市の空き家・古民家対策について問う

- (1) 人口減少時代の地域空間管理としての空き家・古民家対策について、課題認識と(国や県などの)最近の動向等に関する認識は。
- (2) 地域の特性に応じた空き家・古民家対策を行うために、アウトソーシングの仕組みなども不可欠と考えるが、見解は。
- (3) 空き家・古民家対策について、市の裁量はどの程度あると考えればよいか。また、市の単独予算で対策等を実施していく場合、将来的に国や県に十分な予算措置を講ずるよう求める必要性は生じないか。
- (4) 本市の今後の空き家・古民家対策について解決方針を問う。

## 7 木村 冬樹 議員

- 1 政府の軍備増強政策による、この地域の危険性をどう考えるか
  - (1) F35戦闘機の整備拠点に加えて長射程ミサイルの生産拠点も近隣に置かれることになるが、どう受け止めているか。
  - (2) これらの軍需産業に本市に立地される企業に関わることはないか。
  - (3) 本市上空を自衛隊機が頻繁に飛行しているが、落下事故の際の連絡はあるのか。
  - (4) 米軍基地や自衛隊基地の周辺でPFAS汚染が問題となっているが、本市には影響はないか。
- 2 市民に不便を押しつける健康保険証廃止はやめるべき
  - (1) マイナンバーカードを巡るトラブルが相次いでいるが、本市の状況はどうか。
  - (2) マイナ保険証とオンライン資格確認システムの普及状況及び利用状況はどうか。
  - (3) 任意取得、申請、管理、運用、診療報酬の問題をどう考えるか。
  - (4) 政府に健康保険証廃止の中止を求めるべきではないか。
- 3 新型コロナウイルス感染症の感染症法第5類移行により、今後の対応はどう変わっていくのか
  - (1) ワクチン接種事業のコールセンター業務における過大請求問題にどう対応していくのか。
  - (2) 感染拡大の状況はどのように周知されるのか。
  - (3) 一般的に報道されていること以外の変更点はどのようなものがあるのか。
- 4 スマートインターチェンジ整備は断念すべきではないか
  - (1) 昨年度の設置検討業務の成果物や決算はどうなっているのか。
  - (2) 今年度の概略検討業務は具体的にどのようなことを行うのか。また、その積算根拠の詳細はどうなっているか。
  - (3) 国による準備段階調査の採択の時期などの今後のスケジュールや事業費はいつになったら示されるのか。
  - (4) 市民にはメリットよりデメリットのほうが大きくないか。

## 8 鬼頭 博和 議員

- 1 熱中症対策の推進について
  - (1) 熱中症から市民の生命を守るための取組はどのようか。
  - (2) 高齢者の熱中症予防を進めるためどのような取組を行っているのか。
  - (3) 高齢者世帯のエアコン利用を促す取組はどのようか。
  - (4) 一人暮らしの高齢者、特に住民税非課税世帯に対して、省エネエアコンの買換え等に対する設置補助はできないか。
  - (5) 子どもの熱中症防止への取組はどのようか。

(6) 小中学校の屋内運動場へのエアコン設置について検討はされているのか。

## 2 小中学校に整備されたタブレット端末の活用について

(1) 小学校の授業ではプログラミングも含めてどのような活用がされているのか。

(2) 小学6年生の利用頻度は週にどれほどか。

(3) 児童生徒への学習効果（個別最適な学び、協働的な学び）はどのようなか。

(4) 特別支援学級や外国籍など多様な児童生徒の実情や特性に応じた利用はどのようなか。

## 9 梶谷 規子 議員

### 1 学校給食費の無償化を

(1) 学校給食は教育の一環であるという位置づけの大きさをどう考えるか。

(2) 給食費の値上げを保護者負担に押しつけなくても良かったのではないか。

(3) すべての小・中学生の給食費を無償にすることの意味の大きさをどう考えるか。

(4) 無償化は職員にとっても事務量の軽減に、また、教員にとっても負担軽減になるのではないか。（心の負担も含めて）

(5) 国や県に意見しつつ、長期的な無償化を。

### 2 市民の交通権を保障した地域交通政策を

(1) 運転手不足などによるふれ愛タクシーの限界をどう見ているか。

(2) 土曜日運行、利用料金の見直しをどう検討してきたのか。

(3) すこやかタクシーの乗り合いを推奨して改善を。

(4) 巡回型コミュニティバスの検討は、また、近隣市のバスの延伸の検討は。

(5) 自転車用ヘルメット3月購入も補助すべき。

### 3 投票率向上をめざして

(1) 投票率が低くなっている原因をどう分析しているか。

(2) 投票所の問題をどう検討してきたのか。（期日前投票も含めて）

(3) 郵便投票制度の改善等を国に意見すべきではないか。

(4) 教育面についてどう考えるか。教育長の考えを問う。

## 10 片岡 健一郎 議員

### 1 消防の広域化について

(1) 愛知県消防広域化推進計画をどのように推進してきたか。

(2) 消防広域化のメリットをどのように捉えているか。

(3) 今後の消防広域化をどのように考えているか。

- (4) 出勤頻度が多くないと思われる消防車両について過去10年間の出勤回数を問う。
- (5) 維持管理にコストがかかり、出勤頻度が多くない車両の共同運用を検討してはどうか。

## 2 外国籍の市民への情報提供について

- (1) 外国籍の市民への情報提供の対応はどのようなか。
- (2) 外国語に翻訳した内容のチェックはどのように実施されているのか。
- (3) 申請書等の資料についての翻訳の対応状況はどのようなか。
- (4) 翻訳を行った資料の管理状況について問う。
- (5) ホームページ上に翻訳した資料を公開してはどうか。
- (6) ほっと情報メール及び公式LINEにおける多言語化対応を推進してはどうか。
- (7) 情報の受け手側の意見をお聞きし、課題抽出をするために、行政、関係団体、外国籍の市民を交えてのワーキンググループで協議できないか。

## 11 日比野 走 議員

### 1 子育て・保育制度について

- (1) 現在、幼稚園・保育園等に預けられている0～2歳の園児の数は。
- (2) 設備として預けることのできる定員の何割を占めているか。
- (3) 育休退園制度を廃止して第2子を授かったご家庭の2歳未満の子どもも継続して預けることも可能ではないか。

### 2 学校給食について

- (1) 子どもたちの好き嫌いによって残飯の量が増えるが、肉類、魚類それぞれの残飯の量の比率はおよそいくらになるか。
- (2) おかずと、ごはんやパンの残飯の量の比率はいくらになるか。
- (3) 残飯の比率を少しでも減らすための取組をお聞きしたい。

## 12 大野 慎治 議員

### 1 学校給食費無償化について問う

- (1) 全国的に広がっている学校給食費無償化について、どのような見解なのか。
- (2) 学校給食費無償化に取り組むべきではないか。

### 2 オーガニック給食について問う

- (1) 本市における取組について問う。
- (2) 1学期に1回程度オーガニック食材での給食を提供するべきではないか。

### 3 少子化対策としての婚活支援について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 本市における未婚率は。
- (3) マッチングアプリ会社と連携した桑名市の婚活支援の取組について、どのような見解なのか。
- (4) 本市でも婚活支援として、マッチングアプリ会社との連携を検討してはどうか。

#### 4 尾張一宮PAスマートインターチェンジについて問う

- (1) 尾張一宮PA下り線に猫島遺跡、上り線に三ツ井遺跡があるが、スマートインターチェンジ設置に伴う接続道工事に伴い、遺跡調査の必要の可能性が高いのではないか。
- (2) 一宮市内の土地での遺跡調査については、本市の負担がないように確約を取る必要があるのではないか。